

政治って、暮らし。

Activity Report vol.2

つくば・市民ネットワーク

何を守りたいですか？

わたしたちの暮らしの中の
不安なこと、
疑問なこと、
良いと思うこと、
声に出して
つながろう！

Activity Report 01

子どもの学校生活について、 感じている気持ちを共有しました



コロナ禍の新しい生活様式に伴い、環境や行事の状況が変化している今、子どもたちをとりまく生活についておしゃべりしました

学校が再開して1ヵ月が過ぎた7月14日。市民ネットの※1「こども部会」に、学校生活について疑問や不安を感じた母親たちが集まりました。それぞれ気になっていることを挙げていくと、ワッと意見が飛び交います。

例えばマスクのこと。

「やっぱり感染予防のためにマスクは必須なんじゃない？」
「うーん。感染予防にマスクが本当に効果があるのか疑問。それよりも熱中症が心配。」
「マスクも大事だけど換気をしっかりやらないとダメだよな。」
など意見が出ました。
そこにメンバーのひとりが“マウスシールド”を付けて見せます。
「マスクよりも断然、開放感があるよ。口の動きも見えるし、これを学校の先生にして欲しいなあ、と思うんだけど。」
「それいいね！うちの学校の先生に紹介したい！」
「うーん。表情が見えていいけど、布マスクとどっちが飛沫を防げるのかな、調べてみたいね。」

また、宿泊学習が中止になったことを受けて、
「代わりに学校で防災キャンプをする、とか筑波山の旅館に泊まったらいんじゃない？」
「宿泊学習は夜が楽しいんだよね。でも感染が怖くて泊まるのが不安な子もいるらしいよ。」
「遠足なんかはバスを仕立てて遠くに行くのではなく、お弁当を持って近くの公園に行くだけでいい。」という意見が出て、保護者会で意見を言おう、ということになりました。

その他、再開直後は元気だったが最近は学校に行きたがらない子どもが増えている、という話も。宿泊学習や遠足だけでなく、音楽祭などのイベントが中止になったり、体育や音楽・図工など「いわゆる主要教科以外」の時間が減らされてしまって、ガッカリしている子が少なくないようです。



「こどものこと話そうカフェ」の様子

それに給食！おかずが減って怪しい給食になっていて、先生方からもため息がこぼれているとか…

【担当課に確認しました】

「配膳による感染拡大を防ぐため副菜を1品減らしていますが、皆さんの声を受けて他のおかずを具沢山にするなど今は工夫しています。9月からは元に戻す予定です。」

子ども時代はあっという間に過ぎていきます。【生命を守ること】を第一にしつつも、さまざまな体験の機会は大切にしないと、と確認した話し合いでした。

※1 こども部会…つくば・市民ネットワークのテーマ別部会のひとつで、子育てについて話し合ったり、取り組んでいる部会です。

こんな風に市民ネットのこども部会では、会員以外の方も
お誘いして、いろいろな“気になること”をおしゃべりするカ
フェも開催しています。出張カフェも受付中！
皆さんの声、お待ちしております！



access!

「新型コロナウイルス感染対策下での学校生活についての提案」

※いろいろな意見を踏まえ、つくば市教育委員会に要望書を提出しました
内容はこちら→



つくば・市民ネットワーク
ホームページ

写真はイメージです



草刈りは大変な作業。
でも、できるだけ除草剤は
使わないで欲しい。



02

気になる家のまわりの除草剤

「近所に除草剤がまかれた後、具合が悪くなった」「除草剤の健康被害や環境への影響が心配」という声が、最近、市民ネットに相次いで寄せられ、連絡を下さった方と共に、除草剤の規制について、市の環境保全課と農業政策課に相談に行きました。

その結果、法律では除草剤の使用は禁止されていないため、市として禁止はできないが、使用の際には、『事前周知や、風の強い日は散布を避ける、使用方法の遵守』を明記したチラシを配布することは可能ということでした。

除草剤による長期的な健康影響や環境影響を避けるために、できるだけ手や機械で草を刈ることが理想です。市民ネットは、みんなが気持ちよく過ごせるよう、地域の中で、土地の管理者や近所に住む人が、草刈のこと、除草剤のことを、互いに話しあい、協力できる環境を作っていきたい、と考えています。

新型コロナウイルス感染対策

市民のみなさんからご回答いただいた
アンケート結果はこちらから



引き続きご意見をいただき一緒に考えていきます
ご意見・お問い合わせはこちらから



第2話 つくば・市民ネットワークのはじまり

—お二人は、つくば・市民ネットワーク(2004~2012年)（※以下、市民ネット）の初代代理人（議員）ですね。どうして市民ネットを立ち上げようと思ったのですか？

瀬戸： それまで食の安全や環境のことなど色々取り組んでいましたが、当時、遺伝子組み換え（GM）食品が大きな問題になっていました。それで、GM食品を学校給食に使わないで欲しい、とみんなで署名を集めて市議会に請願しました。

永井： 無事に採択はされたものの、その後の状況に変化が見られないことにガッカリ。市や議会におまかせしているだけでは何も変わらない、暮らしやすいまちにするにはこれまでの活動に加えて、議会で発言する人を送り出したいと市民ネットを立ち上げました。

—市民ネットは議員を出すための組織、なんですか？

永井： いいえ！それだけではないところが私たち市民ネットの強みだと考えています。市民ネットには、暮らしの中で困ったことや問題だと思うことを調べたり、どうしたら良いか話し合ったりしたい市民の方たちが集まって活動しています。また、そうやって得られた情報を発行物や勉強会を通して多くの人に知っていただき、つくばを暮らしやすいまちにしたい、と考えています。

瀬戸： その中で市への働きかけが必要なことについては、代理人が議会で発言します。例えば、限られた市の予算を何に使うか、市でどのような決まりを作るか、というようなことです。市民ネットでは、私たちの代弁者として発言する議員のことを「代理人」と呼んでいます。

—議員になってみてどうでしたか？

瀬戸： 当時の議会は、議員同士で議論しないとか、審議の経過が見えないまま密室の中で物事が決められる、各議員の賛否すら市民に公表されていない…など驚きの連続でした！

永井： でも、おかしいことはおかしいと声を上げることで少しずつ風通しをよくしてきた、という自負があります。私たち市民の提案も、いろいろと実現しましたよ。



答える人：つくば・市民ネットワーク 初代代理人

事務局長 ながいえつこ 永井悦子 / 代表 せとゆみこ 瀬戸裕美子

Back number



つくば・市民ネットワーク
ホームページ

第1話「つくば・市民ネットワークとは？」

このような活動の輪を拡げるため、市民ネットでは議員を交代するしくみにしています
瀬戸・永井から次々とバトンタッチしてきて、今年は4人の議員のうち2人が交代します



① 議員は原則2期8年
最長3期で交代

② 議員報酬は
市民の活動費

③ 選挙はカンパと
ボランティアで

まずは自分が
できることから

選挙に行こう

10.25

つくば市長／つくば市議選挙

○みなさんの声をお寄せください！

公式ライングループで、活動の情報発信しています。ぜひ登録してください
※担当エリアの詳細についてはお問合せください



あさのえくこ 北エリア
浅野英公子



かわむらなおこ 東エリア
川村直子



こもりやさやか 西エリア
小森谷さやか



みながわゆきえ 南エリア
皆川ゆきえ



つくばの未来をいっしょにつくろう！

つくば・市民ネットワーク

TEL & FAX

029-859-0264

E-mail / tsukubahotnet@ybb.ne.jp

